

令和 3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地酒王国、信州地酒の歴史セミナーの開催
事業主体 (連絡先)	長野県酒造組合 若葉会 長野県長野市栗田字西番場 205-6 電話 026-227-3133
事業区分	3 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,452,000 円 (うち支援金: 1,089,000 円)

事業内容

- ・1970年にまとめられた『信州の酒の歴史』を、3年計画で、活用しやすい形に再編纂し、電子データ化する。
- ・この資料を基に、県民に広く長野県の地酒について知っていただくためのオンラインセミナーを4回実施した。
- ・松本調理師製菓師専門学校において、日本酒についての授業を行った。(全3回で次年度以降も継続)
- ・同校の生徒向けに、酒蔵インターンシッププログラムを新たに開発したが、新型コロナウイルス感染拡大のため募集したものの、実施できなかった。



【セミナー (右) と授業 (左)】

【目標・ねらい】

- ① 酒の歴史の整理
- ② 日本酒セミナーの開催
- ③ インターンシップの実施
- ④ 次年度の活動の基盤づくり

事業効果

- ・電子化された、「日本酒昔ばなし」やオンラインセミナーの内容は、だれが見てもわかりやすく、またWEB上に保管されるので、今後も半永久的に活用できる。
- ・日本酒セミナーを通じて信州の発酵食品文化を県民に伝えていく上での基盤ができた。
- ・資料の編纂に関しても3年計画で臨んだが、来年度以降の見通し、具体的な計画なども立てることができたのも成果であると考えている。

※自己評価【B】

【理由】

本年度1年で終わる内容ではなく、今回作成したものが、半永久的に活用できる価値のあるものであると考えるため。

今後の取り組み

- ・今回作成した電子データ、および動画セミナーのコンテンツを有効に活用していく。
- ・『信州の酒の歴史』編纂については計画にそって、進めていく
- ・松本調理師製菓師専門学校での授業は継続することが決まっている。インターンシップ事業についてもコロナ収束後に再開する。
- ・専門学校のほか、信州大学などより高等教育機関でのセミナー、キャリア教育についても2年目に取り組んでいく計画である。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある